

なくそう!カメムシ被害 目指せ!全量1等米

地域ぐるみの一斉防除が効果的!

基本の防除ポイント

- ① 出穂前は、カメムシの密度を下げるため、水田周辺の草刈りを徹底する。
- ② 出穂後は、水田に侵入してくるカメムシから守るため、適期に薬剤散布を行う。

防除方法		7月			8月		
		上	中	下	上	中	下
イネの生育					出穂期	穂揃期	
畦畔・雑草地の草刈り		イネ出穂7日前までに草刈り			カメムシが多い場合は追加散布		
薬剤防除	残効性の高い薬剤 1回散布				1回散布		追加散布
	上記以外の薬剤 2回散布				1回目散布	2回目散布	追加散布

やむを得ず出穂後に草刈りを行う場合は、薬剤散布後速やかに!

※ 直播栽培の場合は、8月第4半旬後半～第5半旬前半（直播栽培における穂揃10～14日後）頃に薬剤散布すると効果的です。

草刈り

- ・ 畦畔の草刈りは、**出穂7日前まで**に終わめしよ。
- ・ やむを得ず、出穂後に草刈りを行う場合は、薬剤散布後に行いめしよ。
(残効性が高い薬剤は1週間以内、これ以外の薬剤は速やかに。)

薬剤防除

- ・ 以下のいずれかの方法で適期に薬剤防除を行いましよ。

(注) 「青天の霹靂」「青森クリーンライス」を生産している場合は、栽培基準に沿った薬剤を使用いましよ。

【1回散布を基本とする方法】 (残効性の高い薬剤を使用)

薬剤名	散布時期
キラップ	穂揃期～穂揃7日後
スタークル アルバリン ダントツ※	穂揃7～14日後
エクシード	穂揃7～10日後

【2回散布を基本とする方法】 (左以外の薬剤)

薬剤名	回数	散布時期
エルサン スミチオン トレボン	1回目	穂揃期
	2回目	穂揃7～10日後

※ダントツは、アカスジカスミカメに対して効果が劣る事例があるので、例年多発するほ場では使用しない。

- ・ 例年、斑点米被害が多い水田や、登熟後期にカメムシ類の発生が多い場合は、最終散布の7～10日後に追加防除を行いましよ。

地域全体で作業を行い、防除効果を高めましよ!

令和5年6月 青森県「攻めの農林水産業」推進本部

～ 斑点米カメムシ類による被害とは ～

- 県内で主に被害をもたらしているのは、アカヒゲホソミドリカスミカメとアカスジカスミカメです。
- カメムシ類は、イネ科植物の種子を好むため、普段は畦畔や雑草地に生息し、イネが出穂すると水田に侵入します。



- 斑点米カメムシ類により加害された玄米は、「斑点米」（着色粒）となります。
- この斑点米が1,000粒中に2粒含まれると、「2等米」に落等してしまいます。



カメムシ類による被害粒

薬剤散布の際は、周辺への飛散に注意してください！

- ・ 薬剤散布は、風の弱い日や時間帯を選び、散布の方向に気をつけるなど、周辺の農作物などに飛散しないように気をつけましょう。
- ・ 特に住宅地周辺や養蜂が行われている地域では、飛散防止対策と併せて、周辺住民や養蜂関係者にあらかじめ散布計画を知らせるなど、積極的な情報交換をしましょう。
- ・ 水田で使用した農薬が河川に流出しないよう、農薬使用後7日間は、落水やかけ流しを行わず、この間の入水は水尻を止めて行いましょう。

《 農薬使用基準の厳守 》

農薬を使用する前には必ず最新の登録内容を確認し、適用作物や使用時期、希釈倍数、使用量、成分総使用回数などの使用基準を守って使用しましょう。

◎ 農林水産省【農薬情報】
〔URL〕 https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/

◎ 農林水産省【農薬登録情報提供システム】
〔URL〕 <https://pesticide.maff.go.jp>



農薬登録情報提供システム

お問合せ先

- 青森県農林水産部 農産園芸課 稲作・畑作振興グループ
TEL：017-734-9480 FAX：017-734-8141
- 青森県病虫害防除所
TEL：017-729-1717 FAX：017-729-1900
- 各地域県民局地域農林水産部（農業普及振興室）
 - 東青 TEL：017-734-9965
 - 中南 TEL：0172-33-2903 黒石分室 TEL：0172-52-4335
 - 西北 TEL：0173-35-5719 つがる分室 TEL：0173-42-2222
 - 上北 TEL：0176-23-4281 三沢分室 TEL：0176-53-2498
 - 下北 TEL：0175-22-2685
 - 三八 TEL：0178-27-4444 三戸分室 TEL：0179-23-3264

